

富田林インタビューIN ピーターズ

インタビュー協力:ピーターズ(清水 俊雄さん)

今回は富田林市富田林町でピーターズを経営している店主さんにインタビューを行いました。活動を始めたきっかけや富田林を選んだ理由、服に対する思いなどについてお話を伺いました。

Q1.古着屋を始めたきっかけを教えてください。

A.もともと東京でアパレルの仕事をしていました。業界では年に4回展示会を行うのですがシーズンごとに大量に服を作ります。たくさん売れますが同じくらい大量に売れ残り、メーカーによっては廃棄することもあります。そして次のシーズンに向けて大量に作ってまた売れ残ったのサイクルに違和感を覚えていたので、大量生産大量消費ではない方法で服に携われないかなとずっと考えていました。大阪に越してきた際、コーヒー屋をしている兄の店を手伝っていたのですが、自分の服を店頭に置かせてもらったことがきっかけで自分でも店舗を営むことになりました。

Q2.なぜ、富田林市を選んだのですか？

A.以前から、ドラマの撮影などで使われていた富田林市の寺内町という存在は知っていました。お店の物件を探しているときに初めてゆっくり街を歩き、歴史ある建物が多く並んでいる寺内町に魅力を感じ「雰囲気がとてもいい街だ」と感じたことが富田林市を選んだ大きな理由です。

大阪市内のように人通りが多い場所ではない、のんびりとした落ち着いた雰囲気のなかでお客様とゆっくり関わりながらお店を続けていきたいという思いから富田林市・寺内町を選びました。

Q3.お店のターゲットは決められていますか？

A.特にそういった縛りはないですね。海外のお客様も来られますし、地元のお客様も来られます。古着も90年代や2000年代の服をメインに扱っているのでそういった服が好きな人もお店に来られます。また、偶然来られた方が古着にハマることもあるのでそういったところもピーターズの魅力と感じます。もしかすると知る人ぞ知る穴場スポット的な感じかもしれません。

Q4. 店にある古着って状態がいいですがなにかされているのですか？

A.古着のいくつかは自分のコレクションで大事に着ていたのでもいい状態のものが多いです。またシャツなどはベンガラ染めで染め直しています。ベンガラ染めは土から取れた成分で染める方法です。土を使っているので天然素材として染色に安全ですし、シャツについたシミなどもきれいに染め直して生まれ変わらせることもできます

Q4. この記事を見てくださっている人に一言お願いします

A.富田林市の中でものんびりしたところにあるのんびりした店舗です。ぜひ来店していただいて、他愛のない話をしませんか？

大阪大谷大学 王地ゼミ
大家 悠暉 後藤 暉虎